〔備考〕

- 1 印は必修科目，×印は選択必修科目を示す。
- 2 印は再履修授業科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、基礎科目、関連科目については2年次からこの制限を設けない。また、在籍年次の科目の再履修クラスに限っては、上位年次で開講されていても履修できるものとする。
- 2 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし、第二外国語、選択英語は上限外とする。また、別課程である資格教育課程の科目は卒業要件単位数に算入されないため、上限外とする。
- 3 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるため、情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 「卒業研究・」と「卒業制作・」のどちらかを選択すること。これら科目の選択にあたっては、所属研究室の指導教員の許可が必要である。
- 6 「プログラミング演習・」「工学特別演習・」「卒業研究・」及び「卒業制作・」については、それぞれの先行科目(ローマ数字の値が小さい科目)の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。

〔進級要件〕

卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数は総単位数に含めない。

〔1年次から2年次〕

- 1 1年次終了までに、「FYS」の単位を修得し、専攻科目のうちの基礎科目と必修科目及び外国語科目から18単位以上を修得していなければならない。

〔2年次から3年次〕

- 2 2年次終了までに、「コンピュータ科学」及び「工学基礎演習・」の単位を全て修得し、総単位数で62単位以上を修得していなければならない。

〔3年次から4年次〕

- 3 3年次終了までに、「工学特別演習・」及び「コースワーク～」の単位を全て修得し、総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目	共通教養科目										専攻科目							合計		
	共通基盤科目					共通テーマ科目					基礎科目	必修科目	選択必修科目	選択科目			専攻科目合計			
	FYS	外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える				公共の新しいかたちを求めて	必修科目	選択科目			A群(情報環境工学)	B群(最適化科学)
入学年度																				
2014年度以降	2	8	4	4	4			2			23		22	8	16	12	12		93	125
			8								32									

- 2 共通教養科目については「FYS」2単位、外国語科目8単位、人文の分野、社会の分野、自然の分野から各4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化～」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 3 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。
- 4 選択科目から次の単位を含めて40単位以上を修得しなければならない。
 - (1) A群から16単位以上。
 - (2) B群から12単位以上。
 - (3) C群から12単位以上。
- 5 専攻基礎科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。
- 6 他学部、他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目を・のペアで修得した外国語科目(必修以外)は関連科目に換算できる。
- 7 関連科目は上記5、6の単位を含めて、4単位までを、上記4(1)～(3)の選択科目の単位に換算できる。
- 8 総合工学プログラムから情報システム創成学科に付属された学生は、総合工学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を情報システム創成学科の専攻科目に置き換えることができる。

教育課程における標準年次の区切線について

標準年次が実線()で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。

標準年次が破線(.....)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。